

## 令和 2 年度 福祉保健活動拠点事業報告書

### 施設名

横浜市戸塚区福祉保健活動拠点

### 事業計画

#### 1 場の提供について

##### (1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

団体交流室 1 の机と椅子が経年劣化により故障気味であり、また拠点利用者より使い勝手が悪いとのため新しく購入してほしいとの要望があり、新品を購入して設置した。新型コロナウイルス感染症により稼働率は低下したが、消毒や換気を徹底し、安全に安心して利用できるよう配慮を行っている。

##### (2)拠点の利用促進に関すること

ホームページでは拠点の事業紹介を行い、利用方法や設備に関する周知を行った。新型コロナウイルス感染症により、稼働率は伸びなかった。拠点抽選会を対面式より、FAX 等の方式に変更しコロナ禍においての利用促進を計った。

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	231	287	64	73	81	33
多目的研修室	111	140	72	54	69	39
点字製作室	10	34	24	4	16	13
録音室	62	90	22	30	44	12
対面朗読室	62	49	0	30	24	0

土日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	85	54	3	66	43	8
多目的研修室	40	31	10	44	35	27
点字製作室	1	4	0	1	4	0
録音室	15	22	18	16	68	43
対面朗読室	17	10	1	20	11	27

(3)拠点のサービスの向上に関すること

業務上の改善や利便性を高めるために常勤職員ミーティング・非常勤職員ミーティングを定期的に行い、情報共有の徹底を図り、意見交換を行った。窓口満足度調査を行い、利用者・団体からの意見をもとに改善策を職員間で検討し、サービスの向上に関する対応を徹底した。また、や個人情報取り扱いについて理解を深め、多様な利用者に配慮した対応ができるよう努めた。

(4)利用調整会議等の開催

新型コロナウイルス感染症により、10月の調整会議は中止、3月の調整会議は書面開催とした。調整会議書面開催により、抽選会の変更についての承認が得られた。

開催実績	1回
書面郵送団体数	117団体

## 2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

新型コロナウイルス感染症により、ボランティア依頼、ボランティア登録等が昨年度と比較して減少した。ボランティア依頼施設等にボランティア受け入れに関するアンケートを7月に実施した。今後、新型コロナウイルス感染症が小康状態となれば受け入れを再開する回答を得たが、新型コロナウイルス感染症の第2波第3波により、結局ボランティア受け入れが再開されなかった。広報紙等で、コロナ禍で心が折れず前向きな気持ちになれるように、ボランティアや依頼施設等のメッセージを募り掲載した。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

ボランティアセンターの広報紙については年4回発行して、登録者等への郵送、公共施設の配架、ホームページへの掲載により、情報発進を積極的に行った。

相談対応の際には、ニーズに応じ情報を選別し、適切な情報提供を行った。あわせて、募集中のボランティアについては随時お知らせを作成し、講座内での配布や、ボランティアセンターの広報紙の中に挟み込んだ。

ホームページ（随時更新）やFM とつかで、ボランティアセンターの紹介や講座の紹介を行い、ボランティア活動希望者や依頼者からの問い合わせを受けた。

拠点内の広報スペースは、ボランティア関係の情報提供のためのパンフレットコーナーと掲示板を設置し、随時更新し、新しい情報が得られる広報スペースとなっている。

区民活動センターとも連携し、共催の講座の様子やボランティア関係事業について情報交換している。ボランティアコーディネートの場面では互いの持っている情報を活用することで、より良い情報提供を行った。

### (3) ボランティアに関する相談、紹介

相談員がボランティア活動に関する各種相談・情報提供およびコーディネートを行った。依頼件数は3月末時点で98件でした。また、障がい児・者関連のケースについては、移動情報センターとも適宜情報交換を行い、登録ボランティアを紹介するなど、区社協全体として地域の相談対応にあたった。ニーズ対応については、ボランティアセンターの登録団体だけではなく、区社協の地区担当とも連携し、地域ケアプラザや地区社協、民生委員児童委員協議会、地区連合町内会等の地縁組織と協力するなど、地域資源を生かしたコーディネートを行った。

登録人数	個人	新規	63
		累計	316
	団体	新規	1
		累計	51
相談件数			1626
依頼件数			98
紹介人数			113
調整数			971

### (4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

区民活動センターと共催し、ボランティア初心者向けに、ボランティア活動紹介や基礎知識について知る講座を開催した。毎月の開催（奇数月：区社協、偶数月：区活で開催）であるが、新型コロナウイルス感染症により講座の中止、また参加希望がない開催月もあった。とつか区民活動センターは、オンライン講座で実施した。

本会のボランティア分科会（年3回実施予定）、市民活動推進分科会（年5回実施予定）は、新型コロナウイルス感染症により、それぞれ1回のみでの開催となり、深く議論等を行うことができなかった。

## 3 他の関連組織とのネットワーク

### (1) 関連組織及び地域との連携

通常は、障がい福祉分科会（年4回開催）、ボランティア分科会（年3回開催）、市民活動推進分科会（年5回開催）、地区社協分科会（年5回開催）の他、社会福祉法人と地域つながる連絡会などの、同じ課題を抱えている団体が解決に向けて検討を進める連絡会などを開催し、参加機関同士の連携を推進してきたが、新型コロナウイルス感染症により今年度は連携強化が図れなかった。

また、分科会や連絡会の意見交換会を通じて、会員間のネットワークの構築や地域課題の共有を行った。各機関がより課題解決の幅を広げることができるよう、同じ地域内でのつながりができる為、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会を創り出すためのネットワークが形成された。

(2)地域の福祉保健課題への理解と協力

地域福祉保健計画の連絡会等を実施し、戸塚区内の18地区の関係者や各機関（区社協、地域ケアプラザ、区役所）も参加し、情報交換や事例発表から地域の福祉保健課題の把握とその解決に向けて取り組んだ。

#### 4 その他

(1)職員体制、育成

毎朝のミーティングでは、拠点の引き継ぎ事項を確認し、全職員が共通認識を持てる機会を作った。

業務の中で起こったヒヤリハット事例については各職員が記録に残し、会議時を利用して事例を共有し、事故防止に努めた。

拠点職員は業務日誌に記録することで日中と夜間の職員交替時での業務の引き継ぎや連絡事項を確実に共有した。

職員育成では年に1回職員全体研修を実施し、個人情報保護に関する内容を学んだ。

#### 5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

午前9時～午後9時（月～土）

午前9時～午後5時（日・祝）

<休館日>

年末年始：12月29日～1月3日

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

- ・電気工作物点検（年次・月次） 年1回・隔月1回
- ・エレベーター点検 年4回
- ・消防設備点検 年2回
- ・自動ドア整備 年2回
- ・空調設備清掃点検 年1回

<清掃業務について>

毎日の日常清掃の他、年4回定期清掃を実施することで、快適に拠点を利用できる環境を整えた。

<警備業務について>

館内・外から事故や犯罪の発生する要因を排除することにより、未然に事故や犯罪を防止した。また、夜間の巡回（1日1回）を行い、機械警備を契約して閉館時の侵入者を察知・自動通報する警備システムを設置することで閉館後の防犯・安全に努めた。

<外構施設について>

誰もが利用しやすい施設を意識し、季節の花々を植えた花壇の管理や外用掲示板の有効活用を行った。また、路上駐車対策を行い、近隣住民へ迷惑がかからないよう定期的に見回りを行った。

イ 苦情受付体制について

<対応手順>

「横浜市戸塚区社会福祉協議会 苦情解決規程」に沿って、苦情解決責任者並びに苦情受付担当者を置き、苦情解決に関する速やかな対応に努めた。

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

区社協の運営するホームページ内に苦情解決規程を掲載し、拠点受付に苦情解決責任者・苦情受付担当者名を掲示して広く市民へ苦情解決の取り組みを周知した。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<職員の役割分担>

災害時の初期消火・避難誘導・通報等の担当を定め、災害時の迅速な対応が出来るように努めた。また、年2回の防災訓練を実施した。

<地域や他機関との連携体制>

危機管理マニュアルの活用と関係機関への連絡・通報を迅速に行った。拠点利用団体を対象とした防災訓練（避難経路の確認、消火訓練等）を年2回行った。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報保護に関する条例」及び「社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報の保護に努めた。取組については「個人情報保護に関する方針」及び各種事業ごとの「個人情報取扱業務概要説明書」を拠点窓口で周知し、区社協ホームページでも公開した。また、職員を対象とした「個人情報取り扱い研修」を行った。

オ 環境への配慮及び取組について

<ごみの発生抑制に関する取組み>

紙類を含めたごみの分別や詰め替え式事務用品の活用によるごみの減量化に努めた。

利用者に対しては、ごみは持ち帰りとし、館内の掲示板や利用調整会議等で周知徹底した。

<再利用・再使用に関する取組み>

裏紙の利用促進や詰め替え式消耗品の活用に努めた。

<リサイクルに関する取組み>

物品の購入について、リサイクル可能品を重視、購入に努めた。

また、横浜市の分別ルールに沿って古紙再利用などのリサイクルを行った。

## 令和2年度 横浜市戸塚区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料</b>	<b>14,649,750</b>		<b>14,649,750</b>	<b>14,649,750</b>	<b>0</b>	横浜市より
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）</b>	<b>0</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	
<b>雑入</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	<b>300,000</b>	<b>185,446</b>	<b>114,554</b>	
印刷代	300,000		300,000	175,660	124,340	
自動販売機手数料	0		0	9,299	9,299	
その他	0		0	487	487	
その他	0		0		0	
<b>収入合計</b>	<b>14,949,750</b>	<b>0</b>	<b>14,949,750</b>	<b>14,835,196</b>	<b>114,554</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>9,906,000</b>	<b>0</b>	<b>9,906,000</b>	<b>8,374,936</b>	<b>1,531,064</b>	
給与・賃金	8,496,000		8,496,000	7,253,795	1,242,205	
社会保険料	800,000		800,000	495,013	304,987	
通勤手当	350,000		350,000	442,428	92,428	
健康診断費	30,000		30,000	0	30,000	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	6,000	24,000	
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	177,700	22,300	
<b>事務費</b>	<b>1,330,750</b>	<b>0</b>	<b>1,330,750</b>	<b>1,987,582</b>	<b>656,832</b>	
旅費	10,000		10,000	0	10,000	
消耗品費	200,000		200,000	566,576	366,576	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	100,000		100,000	0	100,000	
通信費	150,000		150,000	144,421	5,579	
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	21,120	21,120	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	705,397	405,397	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	3,370	370	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	547,750		547,750	520,788	26,962	
手数料	0		0	25,910	25,910	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
<b>事業費</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	500,000	0	
<b>管理費</b>	<b>2,603,000</b>	<b>0</b>	<b>2,603,000</b>	<b>3,176,088</b>	<b>573,088</b>	
光熱水費	1,000,000		1,000,000	977,068	22,932	
清掃費	1,193,000		1,193,000	1,163,606	29,394	
修繕費	150,000		150,000	68,350	81,650	
機械警備費	190,000		190,000	191,400	1,400	
設備保全費	70,000	0	70,000	151,140	81,140	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	70,000		70,000	68,200	1,800	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	82,940	82,940	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	624,524	624,524	
<b>公租公課</b>	<b>610,000</b>	<b>0</b>	<b>610,000</b>	<b>683,600</b>	<b>73,600</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	610,000		610,000	678,800	68,800	
印紙税	0		0	4,800	4,800	
その他	0		0	0	0	
<b>その他</b>	<b>0</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>	<b>131,340</b>	<b>31,340</b>	ICT環境整備事業
<b>支出合計</b>	<b>14,949,750</b>	<b>100,000</b>	<b>15,049,750</b>	<b>14,853,546</b>	<b>196,204</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>	<b>18,350</b>	<b>81,650</b>	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	500,000	0	
自主事業 収支	500,000	0	500,000	500,000	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	9,299	9,299	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	11,821	11,821	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。